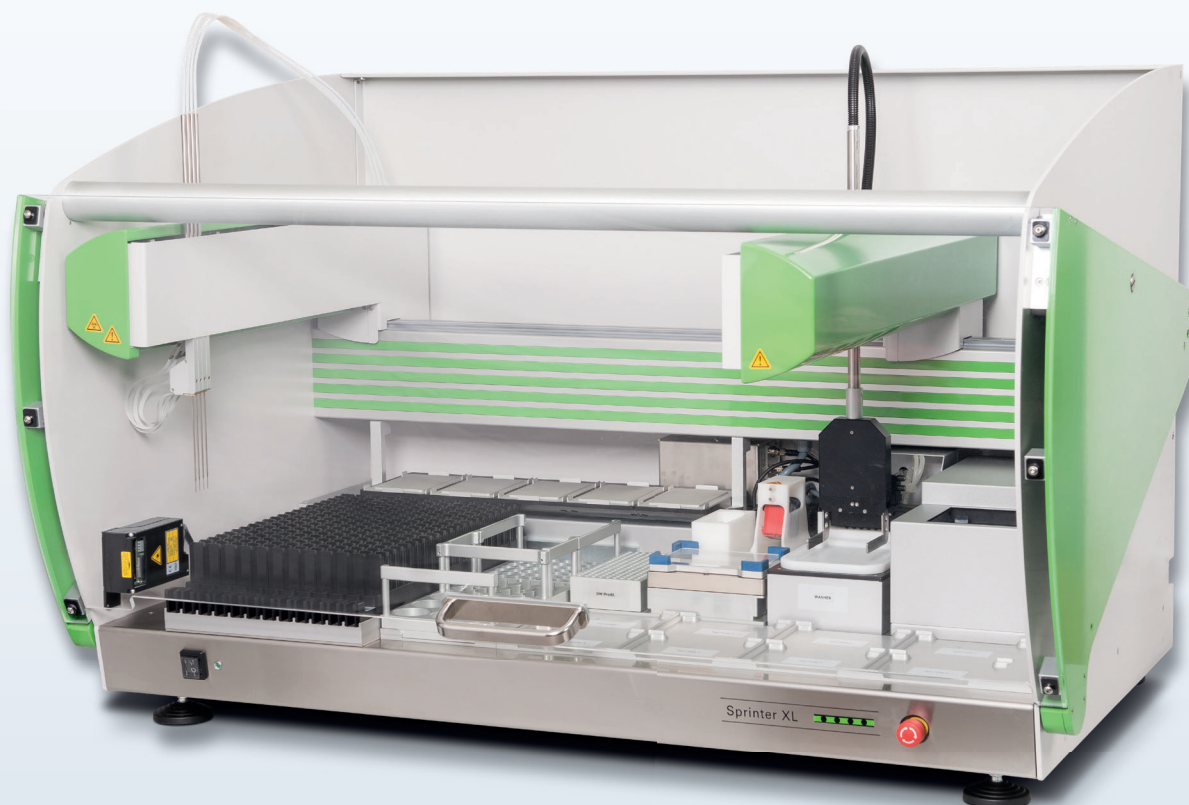


(研究用機器)

Sprinter XL IFT

間接蛍光抗体法(IFA)測定前処理を全自動化



Sprinter XL IFTは、IFA検査の前処理全自動化システムです。
サンプルの識別、希釈、サンプルおよび試薬の分注、洗浄、インキュベーションを
自動で実行します。

- ✓ IFAスライド作成の自動化 サンプルの識別/前希釈/分注/抗原抗体反応
- ✓ ワークフロー改善 EUROLabOfficeを介したLISシステム連携が可能
- ✓ 検体取り違え防止 バーコード認識によるサンプル管理
- ✓ 柔軟なパラメータ設定 プレートやトレイごとに異なる6項目の同時処理が可能



Sprinter XL IFTは、IFA検査のサンプル識別、希釈、サンプルおよび試薬の分注、抗原抗体反応までの前処理工程の自動化が可能です。

手間のかかる前処理工程を自動化することで、作業負荷の低減や作業手順の標準化が可能です。



製品名	Sprinter XL 160 IFT	Sprinter XL 240 IFT
製品番号	YG 0033-0101-4	YG 0033-0101-24
製品構成	1. 装置本体（システム液ユニット含む） 2. 廃液タンク / 洗浄液タンク 3. ハンドバーコードリーダー	4. 制御PC（キーボード/マウス /スピーカー含む） 5. モニター
希望販売価格（税別）	お問い合わせ	お問い合わせ

製品仕様

分注・洗浄ユニット

分注プローブ	4本 ・プローブ 4本は間隔可変 ・各プローブに独立した液面検知機能を有する
分注容量	5～1000 μ L(1 μ L刻み)
洗浄	・洗浄液4種類設置可能 ・8連マニフールドによる専用トレイを用いた浸水洗浄
サンプル数	最大160サンプル (YG 0033-0101-4) 最大240サンプル (YG 0033-0101-24)
バーコード認識	サンプルチューブ：可能 IFAスライド：可能 ・バーコード読み取りでスライド管理やロット管理が可能

IFAスライド 前処理

スライド搭載数	最大30枚
ウェル数	最大300ウェル (10ウェル/スライド使用)
特長	・任意に設定した希釈倍率で検体の前希釈が可能 ・サンプル前希釈、試薬分注、抗原抗体反応の自動化が可能 ・トレイごと異なる6項目の同時処理が可能（6トレイ）

専用PC・ソフトウェア

OS	Windows 10
特長	・双方向通信によるLIS連携が可能 ・ELO連携によりEUROPattern等の免疫蛍光分析装置とのレイアウト連携が可能

寸法・重量（装置本体）

寸法 (WxDxH)	112 cm x 85 cm x 85 cm
重量	約150 kg

電源（装置本体）

電氣的定格	AC 110-240V, 50/60 Hz
消費電力	500W(最大)

設置環境（装置本体）

保管環境	温度 0～60℃、 相対湿度 10～80%（非結露）
使用環境	温度 15～30℃、 相対湿度 10～80%（非結露）

仕様は予告なしに変更となることがございます。